

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	運動療法学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	302 他
担 当 教 員	太田 珠代	実務経験と その関連資格	小児系医療機関で、理学療法士として運動療法等を提供していた。協会活動においてスポーツ分野にも携わる。認定理学療法士(学校教育)を取得。			
《授業科目における学習内容》						
身体の運動を科学的に捉え、運動を基礎として機能回復に応用する運動治療学について学ぶ。・機能回復を図るために、必要な運動治療についての基礎を知る						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験60%、実技試験30%、課題提出10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準理学療法学 運動療法学総論						
《授業外における学習方法》						
授業で提示した課題に取り組む						
《履修に当たっての留意点》						
教科書、配布資料を忘れずに持参すること、前回の課題をしっかりと取り組むこと						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動療法とは何かを説明できる		教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	運動療法とは何か、関節の構造と運動、筋と筋収縮			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動学習を解剖学、生理学的に説明できる		教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	随意運動と運動制御モデル、運動制御と運動学習			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動時の呼吸の特徴を理解する		教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	運動と呼吸			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動時の循環の特徴を理解する		教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	運動と循環			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動時の代謝の特徴を理解する		教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	運動と代謝			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節可動域制限を理解し、運動の種類説明できる	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	組織の病態生理と修復, 運動の種類		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節可動域運動の種類を説明できる	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	肩関節のストレッチ方法を模倣できる	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	肩関節のストレッチ		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	股関節のストレッチ方法を模倣できる	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	股関節のストレッチ		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節・足関節のストレッチ方法を模倣できる	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	膝関節・足関節のストレッチ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋力増強運動の方法を理解する	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	筋力増強運動		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	持久力増強運動の種類を理解する	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	持久力増強運動		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋力増強運動の方法を考察することができる	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	筋力増強運動に関する実習についての計画		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋力増強運動の方法を考察することができる	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	筋力増強運動に関する実習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	協調性運動の種類を理解する	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	協調性運動		